

正答(例)【中学校国語B】

1

一

2

二

3

三

(例) (そして) 二〇〇七年、日本の奈良先端科学技術大学院大学のグループが、フロリゲンを発見した。

2

一

4

二

2

三

(例) 頼信の「射る」という命令の声が聞こえてすぐに、暗闇の中で弓を射る(頼義)

四

(「以心伝心」を選んだ例)

頼信は、事前に言葉で確認してもいないのに、息子が必ずあとから来ると信じて盗人を追いかけている。頼義もまた、父が前にいると信じて馬を走らせている。このことから、二人が大切にしていることは、「以心伝心」という言葉で表せると考えられる。

(「不言実行」を選んだ例)

頼信は、「よくまあ馬を取られなかった、じょうずに射たな」などというほめ言葉は少しも頼義に言わず、その働きを認め、立派な鞍まで付けて大事な馬を与えている。このことから、頼信が大切にしていることは、「不言実行」という言葉で表せると考えられる。

3

一

3

二

1

三

(例1) 私は、**南**さんの考えに賛成します。なぜなら、どちらの国語辞典にも「全然」のあとに否定的表現を伴う場合と伴わない場合の二種類の使い方が載っているのです、どちらの使い方をしても良いと思うからです。

(例2) 私は、**原**さんの考えに賛成します。なぜなら、グラフの総数を見ると、

「全然明るい」と言うことがない人が七八・六パーセントもいて、「全然明るい」は、だれもが使う一般的な言い方とは言えないからです。